

令和3年度 品川区観光統計調査

報告書（概要版）

<目 次>

1. R3 観光統計調査結果とこれからの観光事業展開のポイント・・・ p1
2. 調査①：訪区客へのアンケート調査結果・・・・・・・・・・・・ p2
 - (1) 調査方法・・・・・・・・・・・・p2
 - (2) 調査結果（主要項目抜粋）・・・・・・・・・・・・ p3
3. 調査②：GPS データを活用した観光動向調査・・・・・・・・・・・・ p4
 - (1) 調査方法・・・・・・・・・・・・p4
 - (2) 調査結果（概要抜粋）・・・・・・・・・・・・ p4

品川区 文化スポーツ振興部 文化観光課

1. R3 観光統計調査結果とこれからの観光事業展開のポイント (全体概要)

品川区の観光行政のこれまで

◆品川区都市型観光プラン (H28.3)

<主要ターゲット>

- ①品川区民や区内在勤・在学者等
- ②ビジネス客
- ③外国人観光客 等

<重要な観光コンテンツ>

- ①水辺
- ②商店街
- ③歴史
- ④スポーツ
- ⑤文化芸術
- ⑥ショートトリップ

<その他の重要施策>

- ・情報発信強化
- ・連携の向上
- ・環境整備
- ・推進体制の充実

◆区内の主要観光事業 (H29 以降の主要事業)

水 辺：水辺の観光フェスタ

感じる“しながわ水辺”プロジェクト

商店街：商店街ウォーク (つまみ食い、謎解き)

歴史：高知県との連携事業 (坂本龍馬)

スポーツ：ブラインドサッカー、ホッケー等への支援

文化芸術：文化芸術活動への補助

ショートトリップ：各種まち歩き事業 (水辺、歴史等)

情報発信：しながわ観光大使シナモロールの活用
SNS、動画サイト等での情報発信

推進体制：観光振興協議会・専門部会の設置運営
観光アドバイザーの活用

R3 観光統計調査結果 (品川区の都市型観光の現状・特徴)

調査①：訪区客へのアンケート調査 (⇒詳細は p2~3 参照)

- ①区内観光行動は「買い物」「飲食」「商店街めぐり」がメイン (都市型観光の特徴が表れている)。
- ②訪問経験がある／訪れてみたい観光資源は「水辺」「商店街」関連が多い。
- ③交通手段は区外からは鉄道等、区内では徒歩がメイン。
- ④観光情報の入手方法はインターネットが圧倒的に多い。
- ⑤来訪満足度は非常に高い。

調査②：GPS データを活用した観光動向調査 (⇒詳細は p4~6 参照)

- ①観光資源の利用者はコロナ禍で従前の約 7.5 割に減少。またコロナ禍では、「公園」「水辺 (広場)」「地元商店街」が人気 (相対的に人が集まっている)。
- ②コロナ禍前後での「周辺居住者」の減少幅は小さい。⇒自宅近くで余暇を楽しむマイクロツーリズムが浸透
- ③区内繁華街で一時滞在者が多いのは五反田駅と大井町駅の周辺。中目黒駅周辺の約 1.3 倍の規模。
- ④五反田の目黒川沿川の一時滞在者数は通年では中目黒と同等であるが、4 月祝休日では半数以下 (観光シーズンの集客が課題)。
- ⑤戸越銀座商店街、武蔵小山商店街の一時滞在者数は、都内他区の有名商店街よりも多い。

これからの観光事業展開のポイント

- ①品川区ならではの人気観光コンテンツである「水辺」「商店街」をさらに磨き上げる。
- ②都内随一の充実度を誇る鉄道を活かし、駅からの「ショートトリップ」を充実させる。
- ③デジタル技術を活用した情報発信をさらに充実させる。

<特にコロナ禍においては>

- ④コロナ禍の主な顧客である「品川区民や区内在勤・在学者」を重視した施策を展開する。
- ⑤感染症に対する安全度が比較的高く、コロナ禍で人気のある「公園」「水辺」などの屋外の観光コンテンツの充実、区民生活に密着した「商店街」の魅力向上を図る。

2. 調査①：訪区客へのアンケート調査結果

(1) 調査方法

■ 調査目的	品川区を実際に訪れた来街者から、訪れた目的、同行者、訪問地点、消費額、情報入手先、満足度、交通手段等を把握し、 訪区客の観光行動を把握する。		
■ 調査時期	令和3年 11月～12月の土日 ※11/20(土)、11/21(日)、11/27(土)、12/11(土)		
■ 配布場所	区内5地区の 主要観光スポット 品川地区 : 品川浦、品川宿交流館、ボンドストリート 大井・八潮地区 : しながわ水族館、大井競馬場(メマイルミ出入口) 大井町駅周辺地区 : 大井どんたく秋祭り会場 荏原地区 : 戸越銀座商店街、武蔵小山商店街 大崎地区 : 大崎駅南口駅前、ニューオータニイン東京		
■ 調査項目	問1：基本属性(性別、年齢等) 問4：宿泊の有無・宿泊数 問7：区内で行った観光行動 問9：品川区までの主な交通手段 問11：情報入手方法 問13：コロナ対策の満足度 問15：品川区の観光振興の課題	問2：来訪目的 問5：同行者 問8：観光消費額 問10：区内での移動手段 問12：来訪満足度 問14：今後区内でやってみたい観光	問3：来訪頻度 問6：訪問場所
■ 配布・回収数	2,500票配布・ 326票回収 (回収率13%)		

アンケート票配布場所 位置図



(2) 調査結果 (主要項目抜粋)

① 当日の区内での観光行動

⇒商店街や商業施設での「買い物」「グルメ・飲食」

「商店街めぐり」がトップ3。

⇒「水辺の散歩」がこれらに次いで多い。

N=326、複数回答

当日の観光行動		回答数	割合
1位	買い物	173	53%
2位	グルメ・飲食	96	29%
3位	商店街めぐり	70	21%
4位	水辺の散歩	44	13%
5位	レジャー施設の利用	43	13%

② 観光目的で訪問経験のある区内の資源

⇒「商店街」「水辺」関連の観光資源は訪問率が高い多い。

訪問経験のある資源		回答数	割合
1位	大井町駅周辺の商店街	159	49%
2位	戸越銀座商店街	139	43%
3位	五反田TOC	124	38%
4位	目黒川 (五反田・大崎)	117	36%
5位	目黒川 (品川宿付近)	114	35%

訪問経験のある資源		回答数	割合
6位	武蔵小山商店街	107	33%
7位	しながわ水族館	93	29%
8位	旧東海道品川宿 (商店街)	91	28%
8位	大崎駅周辺の商店街	91	28%
10位	五反田駅周辺の商店街	87	27%

商店街 水辺 N=326、複数回答

③ 今後区内でやってみたい観光

⇒「商店街」「水辺」「歴史文化」関連の観光は人気が高い (需要・ニーズがある)。

N=326、複数回答

商店街 水辺 歴史文化

今後実施したい観光		回答数	割合
1位	グルメ・飲食	147	45%
2位	水辺の散策	132	41%
3位	屋形船・クルーズ	124	38%
4位	商店街めぐり	109	33%
5位	博物館・劇場等への訪問	101	31%
6位	寺社・史跡等の見学	95	29%

④ 交通手段

⇒区外からは「鉄道」がメイン (約4割)。

⇒区内では「徒歩」がメイン (約4割)。

品川区までの交通手段			品川区内の交通手段		
順位	交通手段	割合	順位	交通手段	割合
1位	鉄道等 (※)	41%	1位	徒歩	41%
2位	徒歩	28%	2位	鉄道等 (※)	25%
3位	自転車	8%	3位	自転車	8%
4位	自家用車・レンタカー	7%	4位	路線バス	7%
5位	路線バス	6%	5位	自家用車・レンタカー	5%

N=326、単一回答

※JR、東急、京急、都営、りんかい線、モノレール、メトロ

⑤ 品川区の観光情報の入手方法

⇒「インターネット」が圧倒的に多い (約8割)。

N=119 (情報入手した人)、複数回答

観光情報入手方法		回答数	割合
1位	HP等のインターネットサイト	98	82%
2位	家族・友人の話 (口コミ)	18	15%
3位	Facebook等のSNS	10	8%
4位	パンフレット・チラシ	9	8%

⑥ 当日の観光消費額

⇒中央値は¥3,180/人、平均値は¥6,624/人。

(参考: H29 北区調査は中央値¥2,100、平均値¥4,139)

使 途	中央値	平均値	使 途	中央値	平均値
交通費	¥0	¥560	飲食費	¥450	¥2,150
宿泊費	¥0	¥617	入場料	¥0	¥364
買い物・土産代	¥550	¥2,649	その他	¥0	¥270
			合計金額	¥3,180	¥6,624

⑦ 品川区への来訪満足度

⇒来訪満足度は非常に高い (約8割)。

⇒区内観光施設のコロナ対策への不満は非常に少ない (4%)。

来訪満足度			コロナ対策満足度		
満足度	回答数	割合	満足度	回答数	割合
大変満足した	94	29%	満足した	110	34%
満足した	132	40%			
まあ満足した	29	9%	普通	197	60%
普通	52	16%			
やや不満だった	3	1%	改善が必要	13	4%
不満だった	3	1%			
大変不満だった	2	1%			

N=326、単一回答

3. 調査②：GPS データを活用した観光動向調査

(1) 調査方法

■ 調査目的 ・ 内容	品川区内の観光客の動向を把握することを目的に、ビッグデータ（GPSデータ）を活用して、区内観光資源の一時滞在者（居住や勤務等の長時間滞在者、単なる通過者を除いた一時的な滞在者）の数・属性（推計値）を把握し、コロナ禍以前と以後の比較によりその特徴を明らかにする。
■ 調査時期	令和元年4月～令和3年7月（コロナ禍前後を両方含む期間を設定して比較）
■ 調査箇所	区内の主要観光資源39箇所（下表参照）＋主要観光6イベント

◆ 調査箇所（区内39箇所）

種類	NO.	調査箇所	種類	NO.	調査箇所	
駅周辺繁華街	1	大井町駅周辺	公園	21	しながわ区民公園	
	2	目黒駅周辺		22	東品川海上公園	
	3	五反田駅周辺		23	戸越公園	
	4	大崎駅周辺		24	林試の森公園	
	5	天王洲アイル駅周辺		25	大井ふ頭中央海浜公園 なぎさの森	
再開発地区	6	天王洲アイル	歴史文化資源	街道・参道	26	旧東海道品川宿（八ツ山入口～品川橋）
	7	品川シーサイド			27	旧東海道品川宿（品川橋～都道420号）
	8	御殿山トラストシティ		歴史文化施設	28	上神明天祖神社＋戸越公園駅までの商店街
9	目黒川沿川（太鼓橋～五反田大橋（桜田通））	29			品川歴史館	
水辺	河川・運河沿い	10	目黒川沿川（五反田大橋～御成橋）	30	大森貝塚遺跡庭園	
		11	目黒川沿川（御成橋～居木橋（山手通））	31	北浜川児童遊園（坂本龍馬像）	
		12	目黒川沿川（居木橋～東海橋（第二京浜））	32	品川神社	
		13	目黒川沿川（東海橋～昭和橋（河口））	スポーツ施設	33	大井ふ頭中央海浜公園 スポーツの森
		14	品川浦周辺（天王洲橋～品川浦公園）		34	天王洲公園（野球場）
	水辺の広場・公園	15	勝島運河周辺（立会川河口～鮫洲橋）	商店街	35	戸越銀座商店街
		16	五反田ふれあい水辺広場		36	武蔵小山商店街パルク
		17	天王洲アイル水辺広場（第一～第三）	その他観光資源	37	しながわ水族館
	18	京浜運河緑道公園（八潮橋～勝島橋）	38		大井競馬場	
	19	五反田リバーステーション周辺	39		立会道路桜並木（西小山駅～中原街道）	
船着場周辺	20	東品川二丁目船着場周辺				

(2) 調査結果（概要抜粋）

① コロナ禍前後の一時滞在者数の変化（全体的傾向）

⇒ 調査対象39箇所全体で見ると、コロナ禍で従前の約7.5割に減少（全体平均）。

⇒ 観光資源の種類別では、「公園」はコロナ禍前後で一時滞在者数が微増。「水辺（広場等）」「商店街」は従前の約9割と他の観光資源に比べて減少が小さい。

⇒ コロナ禍では、屋外の「公園」「水辺（広場）」、生活に身近な「地元商店街」が人気となっている。

調査箇所【種別毎】	一時滞在者数の変化	
	2019→2020年度	
駅周辺繁華街【5箇所平均】	↓	73%
再開発地区【3箇所平均】	↓	72%
水辺（河川・運河沿い）【7箇所平均】	↓	75%
水辺（広場）【3箇所平均】	↓	88%
船着場周辺【2箇所平均】	↓	65%
公園【5箇所平均】	→	104%
歴史文化資源【7箇所平均】	↓	84%
スポーツ施設【2箇所平均】	↓	66%
商店街【2箇所平均】	↓	91%
その他【3箇所平均】	↓	70%
全体【39箇所平均】	↓	75%

→ 増減5%以内 ↓ 5%以上減少 ↓ 25%以上減少

② コロナ禍前後の一時滞在者数の変化（滞在者属性別）

⇒コロナ禍前後で、「周辺勤務者」「来街者」は一時滞在者数が大幅に減少。

⇒コロナ禍前後で、「周辺居住者」の減少幅は小さい（全体平均で96%と微減）。中でも特に「公園」「水辺（広場）」は「周辺居住者」による利用が大幅に増加。（コロナ禍で、自宅近くの「公園」「水辺（広場）」で余暇を楽しむマイクロツーリズムが浸透）

調査箇所【種別毎】	一時滞在者数の変化（2019→2020年度）		
	周辺居住者	周辺勤務者	来街者
駅周辺繁華街【5箇所平均】	93%	61%	70%
再開発地区【3箇所平均】	104%	52%	71%
水辺（河川・運河沿い）【7箇所平均】	97%	58%	76%
水辺（広場）【3箇所平均】	117%	60%	74%
船着場周辺【2箇所平均】	82%	57%	63%
公園【5箇所平均】	130%	89%	81%
歴史文化資源【7箇所平均】	95%	69%	75%
スポーツ施設【2箇所平均】	78%	51%	70%
商店街【2箇所平均】	95%	80%	89%
その他【3箇所平均】	98%	70%	50%
全体【39箇所平均】	96%	60%	71%

25%以上増加
5%以上増加
増減5%以内
5%以上減少
25%以上減少

※周辺居住者：調査箇所から1km範囲内に居住している人

※周辺勤務者：調査箇所から1km範囲内に勤務している人

※来街者：周辺居住者、周辺勤務者以外

③ 駅周辺繁華街の一時滞在者数

5%以上減少 25%以上減少

⇒「五反田駅周辺」「大井町駅周辺」が区内で最も一時滞在者の多い繁華街（コロナ禍前は約5万人/日）。中目黒駅周辺の約1.3倍の規模。

⇒何れの箇所もコロナ禍で一時滞在者数が大幅に減少（コロナ禍前の7割前後）。

⇒特にオフィス街が広がる大崎駅と天王洲アイル駅の周辺は、コロナ禍前の約6.5割まで減少。

調査箇所 【駅周辺繁華街】	一時滞在者数（人/日）※推計値			
	2019年度		2020年度	対2019比
五反田駅周辺	52,776	↓	38,721	73%
大井町駅周辺	50,609	↓	39,083	77%
大崎駅周辺	39,136	↓	25,556	65%
目黒駅周辺	34,913	↓	26,927	77%
天王洲アイル駅周辺	13,214	↓	8,442	64%
(参考)中目黒駅周辺	38,304	↓	29,516	77%
(参考)品川駅周辺	122,588	↓	65,112	53%

④ 目黒川沿川の一時滞在者数

25%以上減少

⇒一時滞在者数を通年で比較すると、五反田は中目黒と同程度（潜在的ポテンシャルは同程度）。

⇒4月祝休日で比較すると、五反田は中目黒の半数以下（観光シーズンの集客が課題）。

調査箇所 【目黒川沿川】	一時滞在者数（人/日）※推計値			
	2019年度		2020年度	対2019比
目黒川（五反田）	11,351	↓	7,944	70%
目黒川（大崎）	8,518	↓	6,021	71%
目黒川（品川宿）	2,734	↓	1,966	72%
(参考)目黒川（中目黒）	10,823	↓	7,889	73%
				2019年4月の祝休日
				5,320
				2,196
				1,267
				11,224

⑤水辺（広場）・公園の一時滞在者数

▲ 25%以上増加	▲ 5%以上増加	→ 増減5%以内
▼ 5%以上減少	▼ 25%以上減少	

⇒「大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森」を除くすべての調査箇所で、一時滞在者数はコロナ以前より増加または現状維持。

⇒コロナ禍において「水辺（広場）」「公園」は貴重な観光スポットとなっている。

調査箇所 【水辺（広場）・公園】	一時滞在者数（人/日）※推計値		
	2019年度		2020年度 対2019比
五反田ふれあい水辺広場	450	▲	495 110%
天王洲アイランド水辺広場（第一～第三）	671	▲	781 116%
京浜運河緑道公園	771	→	781 101%
しながわ区民公園	2,330	→	2,225 95%
東品川海上公園	690	→	708 103%
戸越公園	285	→	284 100%
林試の森公園	1,056	▲	1,610 152%
大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森	712	▼	434 61%
(参考)大森ふるさとの浜辺公園	711	▼	628 88%

⑥商店街の一時滞在者数

→ 増減5%以内	▼ 5%以上減少
----------	----------

⇒「戸越銀座商店街」「武蔵小山商店街」の一時滞在者数は、都内他区の有名商店街（北区の十条銀座、江東区の砂町銀座）よりも多い。

⇒商店街はコロナに関わらず、品川区の重要な観光資源。

調査箇所 【商店街】	一時滞在者数（人/日）※推計値		
	2019年度		2020年度 対2019比
戸越銀座商店街	8,444	▼	7,053 84%
武蔵小山商店街	11,824	→	11,328 96%
(参考)十条銀座商店街	7,293	▼	5,958 82%
(参考)砂町銀座商店街	4,082	▼	3,793 93%